

工事写真報告書

工 事 番 号 平成 28 年度

工 事 名 I 様 邸

工 事 箇 所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 八幡東区 大蔵

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

工事施工者 **ベストホーム株式会社**



外観



外観



外観



外観



屋根 洋風コンクリート瓦

セメント：骨材＝1：3（セメント瓦は1：2）で作られており、新築当時は基材・スラリー層・アクリル塗装からなっています。

この瓦の施工の際は脆弱なスラリー層を除去し塗装を行わないと、剥離を起こしてきますので、下地処理がかなり大事になります。



屋根 洋風コンクリート瓦

施工手順

高圧洗浄（2回）…脆弱なスラリー層の除去

その後の下塗り2回塗り（屋根の下地再生補強）・中塗り・上塗りを行います。



軒天

経年劣化しております。
この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



破風板

旧塗膜が剥離をおこしています。
このまま塗装しても旧塗膜から剥が
れる恐れがありますので、密着の悪
い旧塗膜をケレン作業で除去し専用
の下塗り・上塗りを行います。



帯

同上



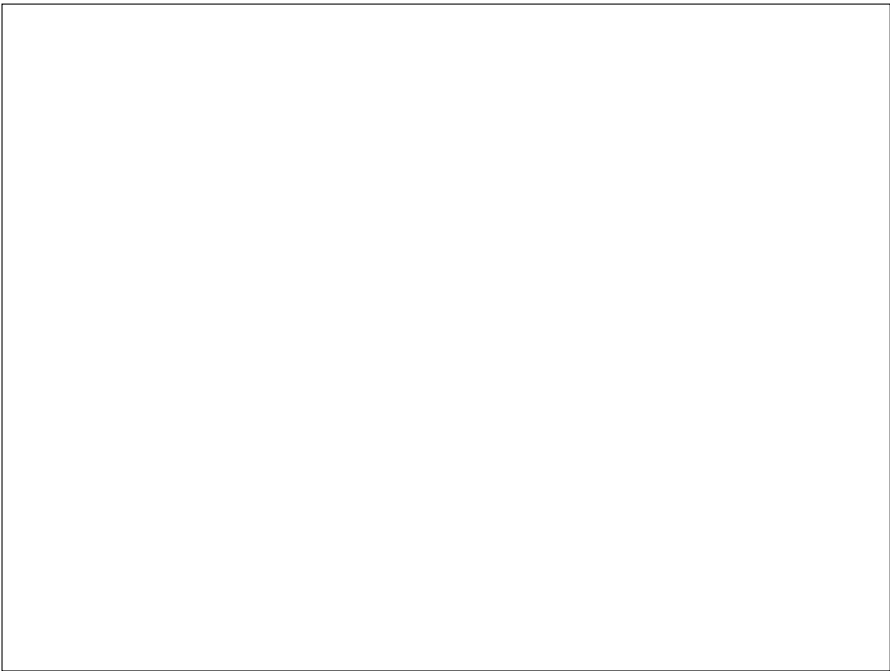
樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



樋

一部破損が見られます。
この部分は一部取替をおこない塗装をしていきます。





シャッター・シャッターBOX

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



出窓天板

同上



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



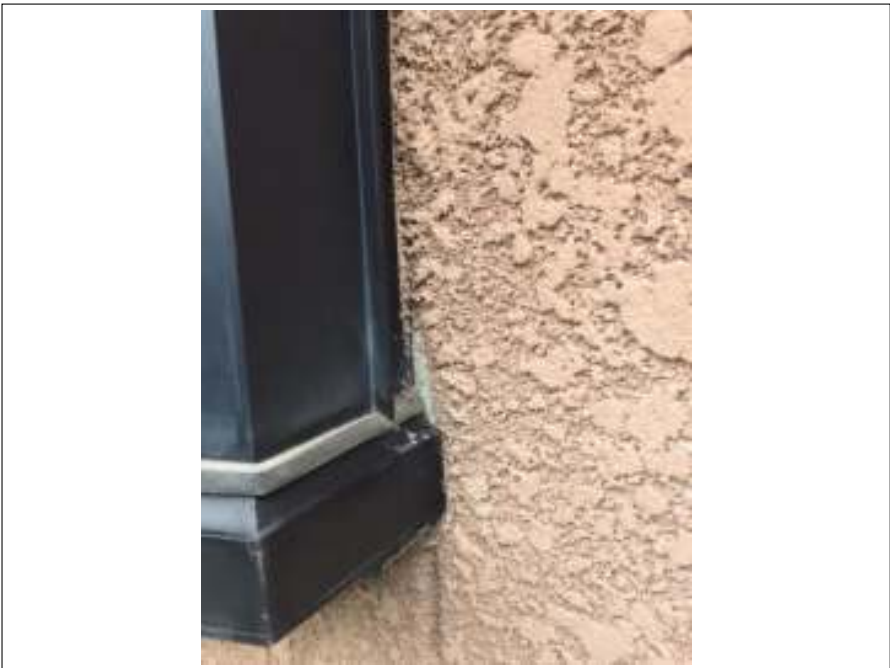
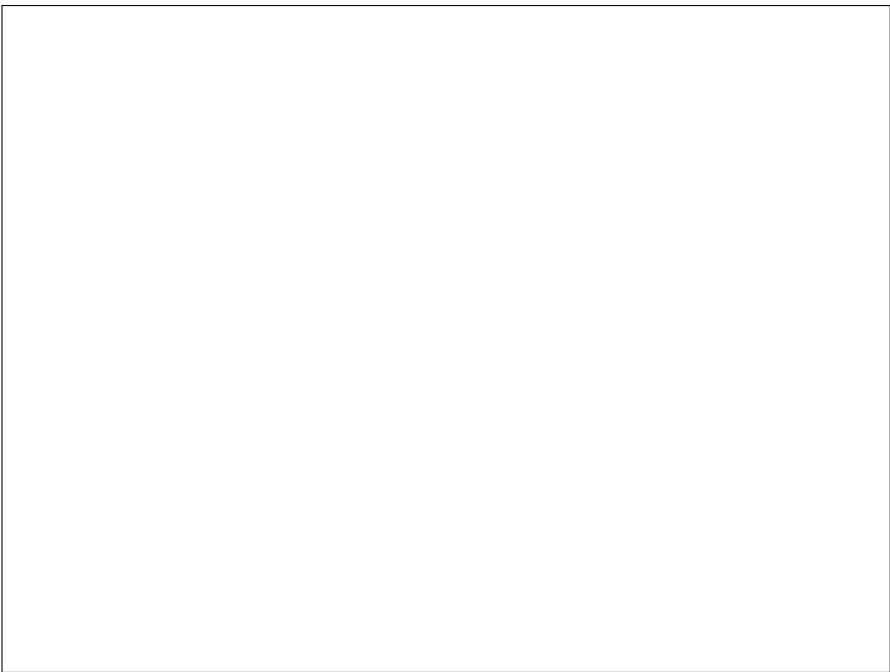
基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎 クラック部

同上



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。

外壁 劣化部

外壁の劣化が見られます。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、これ以上劣化が進む前の早めの塗装をお勧め致します。



外壁 ヘアークラック部

目視で全体的に見られます。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、ク
ラックの幅が広がる前の塗装をお勧
め致します。



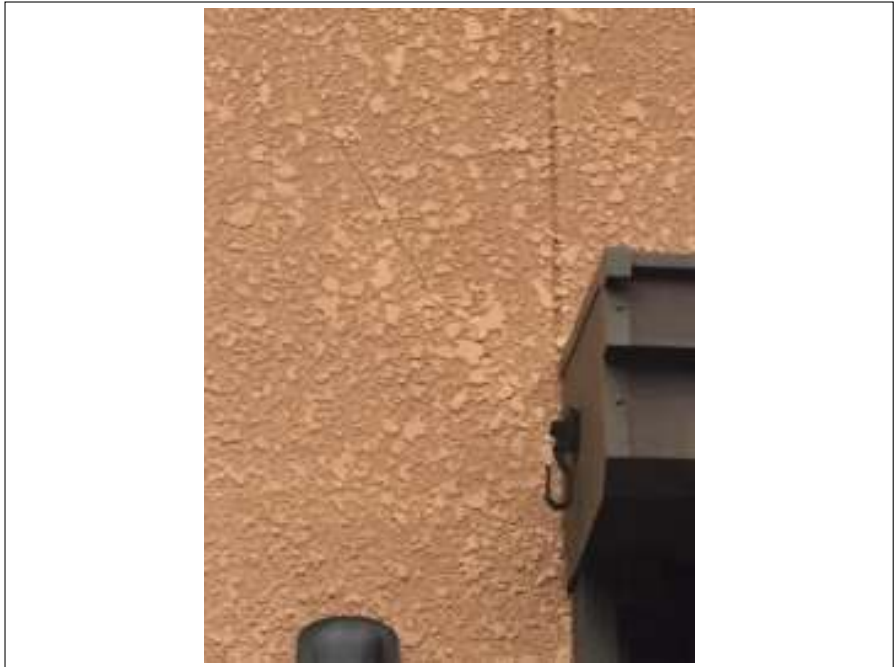
外壁 ヘアークラック部

同上



外壁 ヘアークラック部

同上



外壁 クラック部

0.3mm以上の幅のクラックは、
シーリング材などの補修材での補修
が必要です。



外壁 クラック部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

